

授業概要

学校図書館および司書教諭に関する総論的・入門的な科目として、この分野の全般的な理解と、より詳しく学ぶ上で必要になる基礎知識の取得を目指して講義します。また、学校図書館に限らず、図書館全般に関する基本的な知識と理解を解説しながら進行します。

授業計画

第1回	イントロダクション
第2回	学校教育と学校図書館
第3回	さまざまな図書館と学校図書館 1 図書館に関する理解
第4回	さまざまな図書館と学校図書館 2 他館種との関係
第5回	学校図書館の歴史 1 他国、とくにアメリカを中心に
第6回	学校図書館の歴史 2 日本
第7回	学校図書館と法制
第8回	小テストとこれまでのまとめ
第9回	学校図書館の運営と活動
第10回	学校図書館における利用教育
第11回	司書教諭と学校司書
第12回	学校図書館とメディア
第13回	情報リテラシーおよびメディアリテラシー
第14回	学校図書館を支える人々 (図書委員、ボランティア、地域コミュニティなど)
第15回	学校図書館に関する近年の動き、まとめ
第16回	筆記試験

到達目標

以下の理解を中心に、司書教諭の職務につくことを前提に授業を進めます。
 1) 学校における学校図書館の担う役割、2) 学校図書館の成り立ちと現状、3) 司書教諭実務全般および学校司書との連携の基礎、4) 学校図書館以外の館種に関する基礎

履修上の注意

ディスカッションを積極的にとりいれます。講義中の発言を歓迎します。質問や話題提供などを期待します。司書教諭および学校図書館の全体を知るため、司書教諭課程の中では早い履修が望めます。履修者数が少ない場合、進行および評価方法を代えることがあります。

予習復習

授業時に次回利用する資料を指定します。事前に指定した情報資源を読んでおいてください。毎回の講義でだされるアサインメントは、次回までに取り組んでおいてください。講義中に出た新しい用語について、自ら説明ができるまで確認をしてください。

評価方法

期末テスト(70%・必須)と小テスト(20%・必須)を主とします。それに授業への貢献(議論への積極的参加など)および自由提出のレポート(10%)を加えて評価します。履修者数が少ない場合、期末試験をレポートに代えることがあります。

テキスト

テキストは指定しません。適宜必要な印刷資料を配布し、また、適宜メディアセンターの資料を紹介します。参考になるものとして特に次のものを挙げておきます。

- ・全国学校図書館協議会監修. 司書教諭・学校司書のための学校図書館必携. 悠光堂, 2015, 253p., ISBN 978-4-906873-50-0.
- ・日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編. 図書館情報学用語辞典. 第4版, 丸善出版, 2013, 284p., ISBN 978-4-621-08774-9.